

光洋ベアリングヨーロッパがISO14001認証取得

ISO14001 Certification Obtained – KOYO BEARINGS (EUROPE) LTD. –

1. 光洋ベアリングヨーロッパの沿革

- 1991年 8月 第一工場完成(1991.12出荷開始)
- 1993年 3月 ISO9002認証取得
- 1997年 6月 第二工場完成
- 1997年12月 QS9000認証取得
- 2000年 1月 ISO14001認証取得
- 生産品種 単列・複列玉軸受, 円すいころ軸受, 水ポンプ軸受他
- 従業員数 283名

2. ISO14001の概要

1992年6月ブラジル・リオデジャネイロで180カ国以上の国家代表が参加して開催された地球サミット(地球安全会議)において地球環境問題が討議され、「アジェンダ21」が採択されました。この行動計画を的確にフォローする目的で1996年9月に制定されたのが、国際標準化機構(I S O)が定めるISO14000シリーズ「環境マネジメントシステム規格」です。

ISO14000シリーズの中核となるISO14001は、組織自身が環境方針および目的を定め、P D C Aサイクル(Plan, Do, Check, Action)を確立することで環境マネジメントシステム(E M S)を継続的に向上させ、環境負荷低減に自主的に取り組むことを求めています。

ただ、ISO14001に法的拘束力はなく、環境活動に関する具体的な数値等を求めているわけではありません。要するに絶対的要求事項を規定するものではなく、審査登録の目的および自己宣言の目的のために客観的に審査しうる要求事項だけを含んでいます。

また、この規格に規定するE M Sの要求事項は、既存のマネジメントシステム要素と独立して設定される必要もなく、既存のマネジメントシステム要素を当てはめることによって、要求事項を満たすことも可能なものになっています。



K B E 事務所



認定証

3. ISO14001認証取得

去る1月24、25日の2日間、K B EにおいてU Kの審査機関の1つであるDNV QA Ltd.によるISO14001の本審査が実施されました。光洋精工の認証取得(1999年5月)から遅れることおよそ半年で、光洋グループの海外工場としてはT & K, S M Iに次いでISO14001認証を取得しました。

K B E内に10名の環境プロジェクトチームを結成してから一年半、あらゆる角度から既存のシステムを見直し、必要に応じて新しいシステムを取り入れるなど、環境マネジメントシステム(E M S)構築に向けて、従業員全員が努力した結果だと自負しています。

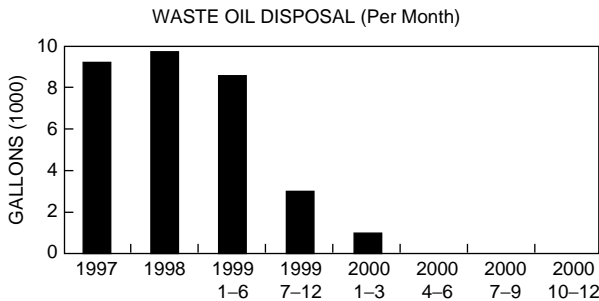
概要欄でも述べたとおり、国際標準化機構(I S O)は種々の規格を国際的に統一していく組織であり、環境マネジメントシステム(E M S)はその中において従来の法的規制の遵守だけでなく、さらに自主的に環境を管理しようとする活動です。それゆえ、まず従業員ひとりひとりの(環境に取り組む)理解がスタートラインとなりました。そのため、環境プロジェクトメンバーを中心に、各作業エリア、部署ごとにミーティングを開き、従業員の意識向上に努め、これは認証取得後も環境マネジメントシステム(E M S)の原点となっています。

また、「KBE環境方針」は、光洋精工の「環境方針」と基本的に同じです。要するに、この規格の全体的な目的は社会経済的ニーズとのバランスの中で環境保全および汚染予防を推進することであり、その最大テーマである「地球環境保全」というものは場所、地域、国を選ばないということです。

欧州は、米国やアジアを上回る世界最大の市場です。近年、EU(欧州連合)のスタート、東欧圏の市場経済体制への変化、EU加盟国による単一通貨ユーロの導入など、ダイナミックな変貌を遂げつつあります。このように活性化する巨大市場の中で顧客からの信頼をより一層高め、環境マネジメントシステム(EMS)を通して地域経済へ貢献するなど、今後も顧客と地域社会に密着した企業活動を目指したいと思っています。

4. 活動事例

1) 廃油削減推移(1999.6廃油処理設備設置)



2) その他取組み事例

	1999	2000(目標)
エネルギーコストの対売上高比の削減, %	2.77	2.48
包装材廃棄量の削減, トン	133	100
リターナブル包装材割合の増加, %	1.51	3.78
熱処理炉効率向上, %	2.00	1.00



現場作業者とのミーティング

Koyo. KOYO BEARINGS (EUROPE) LTD

ENVIRONMENTAL POLICY

At Koyo Bearings (Europe) Ltd., (KBE) we realise that preservation of the Environment is an important mission in creating a good enterprising community. The resultant philosophy of:

KBE CO-EXISTING WITH THE ENVIRONMENT

aims to meet the environmental policy of our parent company, Koyo Seiko, in developing sound enterprise activities which are in harmony with nature. To achieve this philosophy, KBE and its employees will actively promote the following environmental principles:

1. By employing an environment management system which meets the ISO 14001 standard, KBE vows to engage environmental issues with responsibility and to seek ways of continually improving our environmental performance.
2. At the core of this policy is our commitment to the prevention of pollution.
3. KBE will observe all laws, by-laws and other statutory requirements directly concerned with the environment and which fall within the sphere of its enterprise activities.
4. Our product, the rolling bearing, has many beneficial attributes in regard to the environment, as it reduces friction and noise in machinery, thereby conserving energy. Design improvements have given the bearing a longer life, made it lighter and more compact, thereby conserving resources. Together with our parent company, we will seek to continue these improvements and develop environmental solutions for our customers.
5. Amongst the environmental aspects that concern KBE's enterprise activities we will seek to reduce the consumption of materials, energy and water.
6. KBE will seek to reduce waste wherever it occurs by promoting reuse and recycling. We will ensure that residual waste is transported and disposed of appropriately.
7. KBE will establish and implement environmental aims and we shall regularly audit and monitor our environmental performance to demonstrate compliance with this policy.
8. The environmental policy will be made common knowledge to all KBE departments and employees, and will be made available to other interested parties, on request.
9. In relation to the environmental impact of its enterprise activities, KBE will have due regard to its employees, neighbours and any other interested parties.

Y. Maeyama
PRESIDENT

09 November 1999



環境掲示板

(光洋ベアリングヨーロッパ 柏木栄治)